

松原拉致問題担当大臣記者会見要旨

日時：平成24年9月7日（金） 8：39～8：42

場所：参議院議員食堂

1. 発言要旨

警察関係についてですが、10月6日に天皇皇后両陛下が行幸啓される予定の山梨県立武田の杜保健休養林等の警衛現場を来週の9月11日に視察する予定です。また、両陛下の警護の万全を期するよう山梨県警察をしっかりと督励してまいります。

2. 質疑応答

（問）日朝協議の関係でお聞きしますが、北朝鮮の外務省報道官が、予備協議で拉致を議題にすることを、こういう事実はないというふうに発表していますが、日本政府としてはどのように対応していくか。

（答）外務省において、先般の日朝政府間協議に向けた予備協議を受け、日朝政府間協議では、日朝双方が関心を有する事項を議題として幅広く協議する方向で調整をしていると承知をしております。いずれにしても、議題については最終的には調整の結果確定することとなりますが、拉致問題担当大臣の私としては、来るべき日朝政府間交渉において、この拉致問題を最優先課題として扱うべきであり、ゆめゆめこれが他のものが具体的に進む中において継続協議ということがあってはならないと申し上げてきたところであります。私は、来るべき本協議を通じ、金正恩新体制が拉致問題をはじめとして国際社会に認められるような新たな方針を打ち出すことを強く期待をしております。

（問）「河野談話」の見直しの件でお伺いしたいんですけども、大臣、先月の予算委員会で見直しの提起の検討の考えを示されたんですが、その後の検討状況と、政府間で何かしら大臣自身が提起されたのかどうか、この2点についてお願いします。

（答）まず、まだ政府部内と言いますか、例えば閣僚懇等での提起は事実としていたしておりませんが、様々な事柄を今整理をして、どのようなことを検討すべきと言うかについて熟慮をしているところであります。

（以 上）